

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-2  
スポーツの振興

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

保健体育課長 佐藤 正範

電話番号

0852-22-5722

事務事業の名称	スポーツ・レクリエーション推進事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	スポーツ・レクリエーション活動の楽しさを体験することにより、継続的なスポーツ活動への意欲を喚起する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の普及推進を図るため、広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場や体験する場を提供する。</li> <li>健常者と障がい者が一緒にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ環境づくりを推進するために、地域スポーツ指導者やスポーツ・レクリエーション種目団体などに指導者養成研修やモデル事業を実施する。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 島根県スポーツ・レクリエーション祭への参加人数（全体）	目標値		5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 スポレク広場（体験の場）の参加者数及び種目別大会（普及・振興の場）参加者数	実績値	5,434.0	5,223.0				
		達成率	-	104.5	-	-	-	%
2	指標名 島根県スポーツ・レクリエーション祭の中のスポレク広場（体験の場）への参加者数	目標値		1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	人
		取組目標値						
	式・定義 スポレク広場（体験の場）への参加者数	実績値	2,194.0	2,322.0				
		達成率	-	154.8	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	7,067	7,338
うち一般財源 (千円)	3,750	4,238

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 島根県スポーツ・レクリエーション祭の参加者数は減少しているが、目標値は達成している。
- 島根県スポーツ・レクリエーション祭の中のスポレク広場（体験の場）の参加者数は増加し、目標値も達成している。（全体の参加者に占める割合4割超）
- 島根県スポーツ・レクリエーション祭に参加した障がい者の参加者は、前年度より増えた。（H25:136人→H26:163人→H27:91人→H28:122人）

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 島根県スポーツ・レクリエーション祭の実施団体に対して、県民の誰もが気軽に参加できる場というコンセプトが浸透されつつあり、愛好者中心の活動から初心者等も楽しめる活動への工夫・改善が進められている。
- スポレク広場（体験の場）の中のレクリエーション・フェスティバルについては、県体育協会、県レクリエーション協会、県障害者スポーツ協会、県障がい福祉課と協働で企画・運営を行うことで、障がい者も気軽に参加できる内容や方法の工夫・改善が図られている。
- レクリエーション・フェスティバルの運営に携わるスタッフ、また、県内のスポーツ推進委員を対象に障がい者の理解・支援について研修を行ったことで、指導者個々の意識や受け入れる側としての気運を高めることができた。
- 健常者と障がい者のスポーツレクリエーション活動連携モデル事業を行った団体は、実施したことがきっかけとなって、その後も発展的な取組を行っている。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- 島根県スポーツ・レクリエーション祭を実施する団体が固定化され、新規に実施する団体がほとんどない。
- 障がい者の理解・支援について研修したことがその後の実践に十分結びついていない。
- 健常者と障がい者のスポーツレクリエーション活動連携モデル事業を行う団体が限られている。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 島根県スポーツ・レクリエーション祭の意義、必要性についての啓発が不十分である。
- 研修を生かす場（実践の場）が少ない。また、障がい者に対する支援が乏しいことからの不安もある。
- 健常者と障がい者のスポーツレクリエーション活動連携モデル事業についての普及・啓発が不十分である。

### ③原因を解消するための「課題」

- スポーツ・レクリエーション活動に関わる団体に対して、島根県スポーツ・レクリエーション祭の意義、必要性を粘り強く訴え、新規に実施する団体を増やしていく。
- 研修と実践が循環するような仕組みを整える。
- スポーツ・レクリエーション活動に関わる団体に対して、健常者と障がい者のスポーツレクリエーション活動連携モデル事業を行っている団体の取組等を紹介することで、県内各地へ普及させていく。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- スポーツ・レクリエーション推進事業は、生涯スポーツ推進の一部であることから、事務事業見直しを行い、生涯スポーツ推進事業に包含する。
- スポレク祭開催事業は、広域スポーツセンター運営事業に包含し、総合型地域スポーツクラブ、県レクリエーション協会加盟団体等に対する島根県スポーツ・レクリエーション祭への参画を奨励することにより、各市町村（各地域）におけるスポーツ・レクリエーション活動の機会の充実を図る。
- 健常者と障がい者のスポーツ・レクリエーション活動連携事業は、生涯スポーツ推進事業の中で、活動を通じて交流を深める、活動を推進する、といった先駆的な取組を行っている団体の事例を研修等で普及・啓発することにより、研修と実践が循環する仕組みを構築する。